

クリーンバキューム

型式: CV-1B

取扱説明書

改訂履歴

第1版 2019年10月1日

apus株式会社

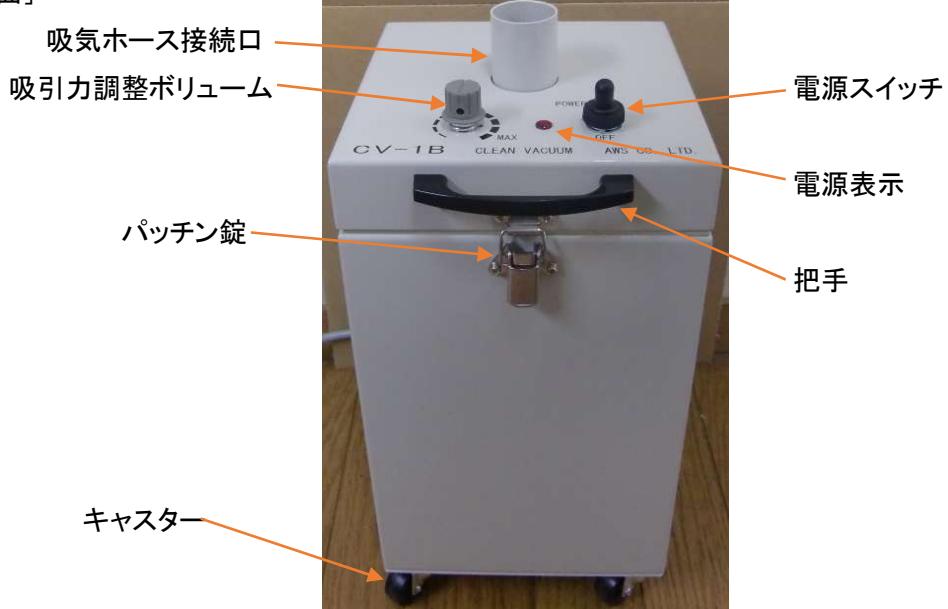
この度はクリーンバキュームをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。  
この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。  
お読みになったあとはいつも手元に置いてご使用ください。

## 1 特 徴

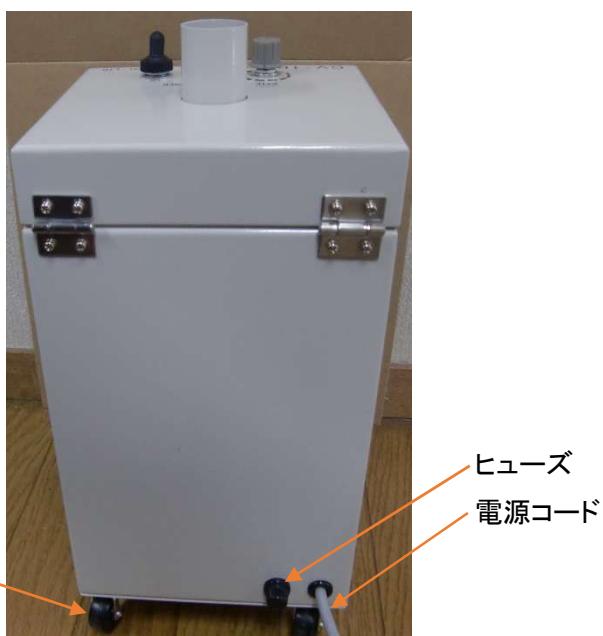
- バキュームモーター、コントロール回路の変更により、現行機種 CV-1 より大幅な低価格化を実現しました。
- 耐久性に優れています。AC モーターはブラシ交換により長寿命です。
- コントローラ内蔵タイプで、吸引力は本体のボリュームで調整可能です。
- 粉塵の処理は手軽に交換できるディスポーザブルの高性能紙パックフィルターを使用します。

## 2 各部の名称

### [前面]



### [背面]



### 3 設 置

#### ① 固定

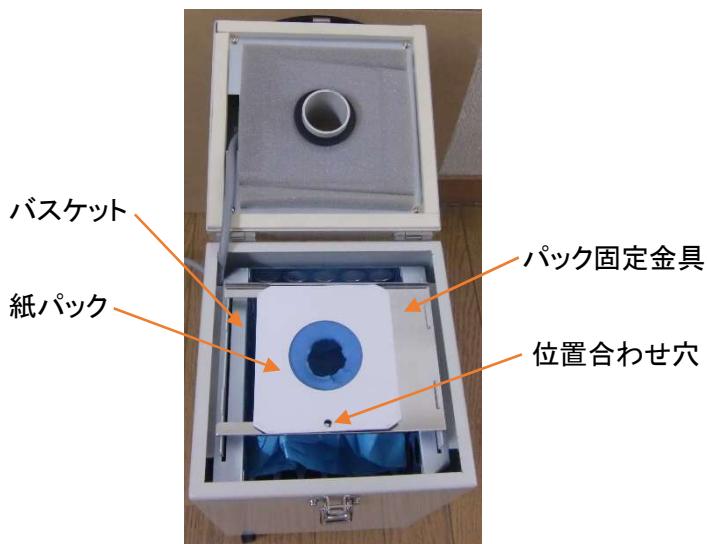
適切な場所に置き、動かないように固定する。

#### ② 紙パックのセット

パッキン錠を外し、把手を持ち、装置上部を開ける。

バスケットに紙パックを入れ、紙パックのボール紙の下側にパック固定金具を挿入する。ボール紙の穴と固定金具の突起位置を合わせ、バスケットにセットする。

紙パックはバスケット内で出来る限り広げておく。



③ 装置上部を下げ、パイプが紙パックのシールゴム内に入ることを確認して、パッキン錠を閉じる。

④ 電源コードを許容電流10A以上のコンセントに接続する。

⑤ 吸引用エアホースを装置上部に接続し、ホースバンドで締めて固定する。

### 4 使用方法

① 吸込み口を所定の位置へ移動する。

② ボリュームを最小にして、電源スイッチを ON にする。

③ ボリュームで適切な吸引力に調整する。なるべく必要最小限の吸引力に設定することにより、騒音、及びモータ一寿命の点から有利となります。

④ 作業が終了したら、電源スイッチを OFF にする。長時間使用しない場合は AC プラグを抜いておく。

### 5 使用上の注意

① 装置の電源は10A以上の容量があるコンセントから取ってください。

② 排気で埃が舞うことがありますので、注意してください。

③ 水分が含んだ石膏、粉塵などの吸込みは厳禁です。紙パックが破れ、装置故障の原因になります。

④ 紙パックはこまめに交換するようにして下さい。粉塵をいっぱいにして使用し続けると、紙パックの破れ、モーター負荷の増大などにより、故障の原因になります。

## ⑤ 紙パックについて

東芝 VPF-5 と VPF-7 が使用可能です。その他の紙パック、フィルターなどを指定以外のものを使用した場合、保証できなくなります。次の紙パック比較表を参考にして、用途により適切な紙パックを選んでください。

**紙パック比較表**

	VPF-5(標準付属品)	VPF-7
外観		
材質	(表示なし)	銅イオン系纖維
構造	3層	3層
フィルター厚さ	一	(VPF-5 の)約3倍
集塵力	中	高
吸引力持続性	中	高
排気性能	一	0.5 μm の約 99%除去
内容量(入り数)	5	3
市販参考価格 (1枚当り、税別)	約180円	約350円

## 6 お手入れ・保守

- ① 紙パックの交換時期:吸引力が落ちたら、交換が必要です。無理して使い続けると故障の原因となります。
- ② 紙パックの交換方法:装置の電源を OFF し、装置上部を開けて、古い紙パックを取り出し、新しい紙パックを広げてから取付けます。集塵した物が飛散るような場合は、入口をガムテープ等で塞ぎ、廃棄します。
- ③ 装置についた粉塵は時々掃除機などで吸い取り、乾拭きを行ってください。
- ④ カーボンブラシの寿命はフルパワーで運転した場合に 700 時間以上ですが、使用状況によって変わります。モーターに異常(停止、パワー低下等)が発生した場合にはカーボンブラシの交換が必要になります。  
ただし、カーボンブラシを交換しても修復しない時はモーター、又は装置本体の修理が必要となります。

## 7 仕様

- ・ 電 源:AC100V 6A 50/60Hz (ヒューズ 10A)
- ・ 電 動 機:単相直巻整流子モーター 2極
- ・ 吸引性能:最大風量2.1 m<sup>3</sup>/分 最大真空度16.0 kPa  
(モーター単体性能です。装置性能は条件により変化しますが、約30%低下します。)
- ・ 集じん容量:最大3.3リットル
- ・ 大 き さ:W190×D190×H400mm (WとDは把手等の突起物を除く)
- ・ 重 量:9Kg
- ・ 使用環境:温度-5~35°C 相対湿度 95%以下

## 8 付属品

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| ・ 取扱説明書       | 1                |
| ・ 保証書         | 1                |
| ・ 紙パック(5個入り)  | 1 (標準品:東芝 VPF-5) |
| ・ 吸引ホース(1.5m) | 1                |
| ・ ホースバンド      | 1                |

## 9 修理用部品(ユーザー様で交換可能なもの)は単品で販売しています。

価格は装置の型式、シリアル番号を確認の上、製造元にお問い合わせください。

- ・ カーボンブラシ(ML シリーズ用、2個入りセット)
- ・ バキュームモーター(ML1060BS、定格 AC100V 600W)
- ・ 内部フィルター 1式

## 10 保証、その他

- ・ 本品は保証書に記載された保証期間内に、お客様が正常な使用で万一故障が生じた場合、保証書の記載内容の範囲内で無償修理致します。
- ・ 消耗品(紙パック、フィルター等)、バキュームモーター及びカーボンブラシは保証範囲外です。
- ・ 故障した場合には工場にて修理いたしますが、本モデルの製造中止後、7年以上経過している場合、修理できないことがあります。
- ・ 本製品の仕様は改良その他の事情により予告なく変更する場合があります。

## 11 製造元

apus株式会社

〒179-0084 東京都練馬区氷川台4-2-1

電話:03-3935-9221 FAX:03-3935-8118

# クリーンバキューム(CV-1A/B、CV-5) 室外排気ユニット 説明書

- 通常は注文時に指定することにより、取付けられた状態で、出荷されます。
- キャスターは無く、ゴム足になります。
- 取付け方により、4方向への室外排気が可能です(通常は後方排気、注文時に方向指定可)。
- 室内排気タイプを購入後、室外排気ユニット購入により、現地での仕様変更が可能です。

<外観> 室内排気タイプ(通常)



室外排気タイプ(排気後方向き取付状態)



<仕様>

- ・ 大きさ:高さ +20mm  
排気パイプ部突出 +30mm (排気ホースは除く)
- ・ 重量:+0.2 Kg

<構成>

- ・ 室外排気ユニット 1
- ・ 排気ホース(1.5m) 1
- ・ ホースバンド 1

<価格>

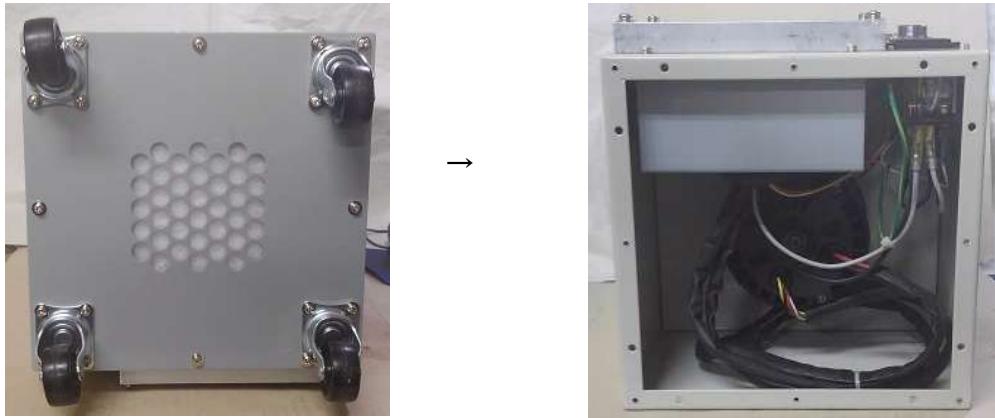
- ・ 工場出荷品:各装置による標準価格(ホームページ、カタログ等による)
- ・ 室外排気ユニット: 10,000 円(排気ホース、ホースバンド付、2023 年 10 月末現在の価格)

## <現地での設置>

納品後にユーザー様にて仕様変更する場合は、単品で注文し、つぎのように交換することが出来ます。

- ① 装置本体の底板を外します。

4隅と中間のビス 8 本をゆるめると外れます。



- ② 室外排気ユニットは前後左右4方向に取付可能  
ですので、最適な方向を確認します。



- ③ 室外排気ユニットを8本のビスで止めます。  
右図は排気口を後方に向けた場合。



- ④ 排気口に排気ホースを接続して、ホースバンドで  
固定します。

排気ホースの先を室外に出します。  
届かない場合には別途、延長ホースを用意する必要  
があります。



## カーボンブラシの交換要領(ML シリーズモーターの場合)

<モーター適用機種> ML1060BS、ML10100BS、ML2260BS 等

機種により写真が一部異なりますが、作業内容は同様です。

<使用工具>ハンダゴテ、+ドライバー、-ドライバー(小)

<作業内容>

- ① バキューム本体の電源プラグをコンセントから外し、中の紙パックを取り外します。
- ② バキューム本体をひっくり返し底部を上にしてから、底板のネジ(4隅の4本のみ)を緩めて底板を取り外します。
- ③ モーター端子に接続されている電線を抜き、モーター取付板の外側のネジ4本を緩めて、モーターを取出す。

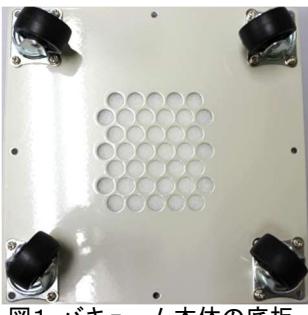


図1 バキューム本体の底板

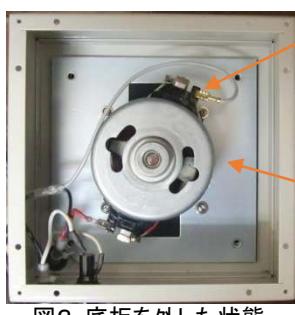


図2 底板を外した状態

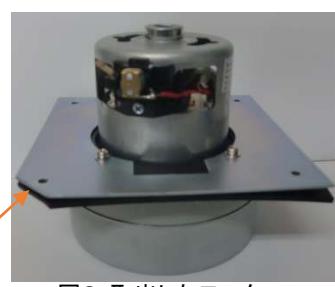


図3 取出したモーター

- ④ ハンダゴテを使い、モーターリード線のハンダ付けを外します。
- ⑤ カーボンブラシを止めているブラシホルダーの爪を、-ドライバー等で起こして、ブラシホルダーの中に入っているカーボンブラシを取り外します。



図4 ハンダ付け部



図5 ブラシホルダーの爪



図6 カーボンブラシ取り出し



図7 カーボンブラシ取り外し後

※すり減ったカーボンブラシを取り出した時点で必ず掃除機でブラシホルダー内及びその周辺のブラシのカーボン粉を取り除いてください。

- ⑥ ブラシホルダーに新しいカーボンブラシを奥の方まで押し込み、カーボン部がスムーズにスライドするのを確認してから、トッププレートをブラシホルダーの爪部にはめて爪を折り固定します。
- ⑦ ハンダゴテを使い、モーターリード線のハンダ付けをします。



図8 新しいカーボンブラシの挿入

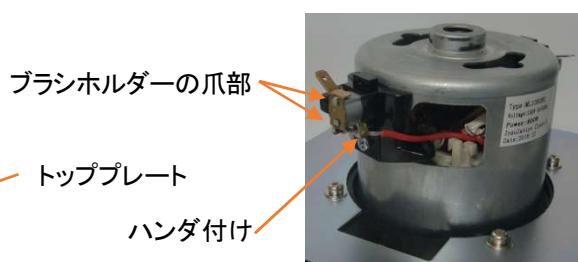


図9 カーボンブラシ交換完了

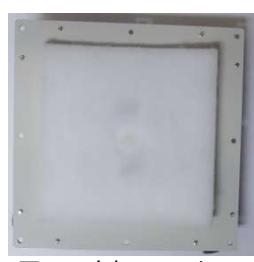


図10 底板フィルター

- ⑧ もう片方のブラシホルダーに対しても同様にカーボンブラシの交換を行います。
  - ⑨ モーター周囲の研磨材、石膏粉等を掃除機で取り除きます。
  - ⑩ モーターをモーター取付板の切欠きの位置(図3)を図2の右下に合せて取付けます。
  - ⑪ 底板をネジで固定します。
- ※底板フィルターにカーボンが付着し、黒く汚れている場合はフィルターを交換してください。
- ⑫ 中の紙パックを取り付け、電源プラグを接続します。
  - ⑬ 電源を入れ、吸引動作に異常がないことを確認します。